



## SSH生徒研究中間発表を開催しました

10月27日（火）午後から、1年次「理数探究基礎」の課題研究の授業で、研究成果の中間発表を行いました。1年次全員が、9分野63班に分かれ、自分たちの研究をポスターセッション形式で発表しました。発表は全員で行いますが、自分の担当時間以外は自由に他の班のポスターセッションに参加しました。他班の研究を聞くことは勉強になります。プレゼンテーションを聞き、疑問に感じることを質疑応答の時間に聞き、アドバイスシートを書くことも、よい経験になりました。

SSH指定校や近隣高校の先生方、他校AL Tにも多数ご参加いただきました。質疑を受け、さらに各班にアドバイスシートも書いていただきました。上手に答えられた班ばかりではありませんでしたが、自分の研究を発展させるための貴重なご意見をいただくことができました。

ポスターセッションが終わった後、指導・助言として大学の先生から、研究発表について全体の講評をいただきました。探究活動をする意義や、研究計画を立てるポイント、効果的なプレゼンテーションについて、貴重な視点をたくさんいただきました。

最後に、まとめとして各班に提出されたアドバイスシートを整理しました。貴重なアドバイスを参考にさらに話し合いを深め、今後の計画を立て直しました。2月の研究発表会に向け、さらに研究を発展できるように頑張りましょう。



## サイエンスラボ2

10月30日（金）放課後、近隣中学校5校に呼びかけ、姫路東高等学校で、科学に親んでもらうイベント「サイエンスラボ2」を実施しました。

「低気圧をつくろう」「太陽の色は何色ですか」「図形に強くなろう」の3講座を開講しました。全講座で88名の中学生参加者がありました。

低気圧の作図をしたり、分光器を作成していろいろな光を見たり、授業で学習中の図形問題について積み木を使って考えたりしました。どの講座も真剣な表情で取り組んでいました。



## 科学部の活動と今年度の実績

- JSEC2020で「砂粒班」が予備審査を通過しました。入選は確実です。全国大会への出場なるか？
- 兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門で「プラズマの研究」が全体の1位（最優秀賞）、「砂粒の研究」が地学分野1位（地学分野最優秀賞）となり、ともに全国総合文化祭への進出を決めました。
- グローバル・サイエンティスト・アワード2020でプラズマ班が全国2位の優秀賞、砂粒班が大学新聞社賞を受賞しました。



